

居住支援業務事業所えぼっく(社会福祉法人えぼっく)

フードバンクぼすこ

札幌(厚別)

《フードバンクぼすこ食料支援事業活動の目的》

えぼっくでは、2020年7月より、札幌市厚別区において、住宅確保要配慮者への居住支援業務事業所えぼっくの事業を開始しました。その活動のひとつとして想定したのは現在のコロナ禍の中で、食料支援利用希望のニーズは確実に増加していくであろうということです。2015年から取り組んでいる生活困窮者自立相談支援事業「きたひろしま暮らしサポートセンターぽると」でも相談実践の中で、食費を切り詰めて生活費を捻出している方々が非常に多い現状にありました。そのため、えぼっくでは従来から法人自主事業として千歳市にあるフードバンクさんのご支援や北広島市内の農家さんの応援のもと、食料提供をいただき、生活困窮者世帯や外国人留学生や技能実習生、近隣の福祉施設等への食料支援を行ってきました。

この事業のいっそうの発展を目指して、居住業務支援の一環として、私たちのサービス提供のエリアである札幌や北広島を中心として活動する「フードバンクぼすこ」を立ち上げました。

札幌市と北広島市が太古の昔より残されている森林(イタリア語で bosco)である野幌原生林は、今では森の恵みとして貴重な財産であり共に札幌市、北広島市がつながっていること、そして、いま緊急性の高い「**ぼ**くらが**す**ぐに取り組みべき**こ**と」であることから食料支援事業に対する取り組みを特に重視して取り組みます。



《フードバンクぼすこの運営について》

この事業を進めるのに多くのボランティアの皆さんの協力が必要です。今般のコロナ禍で、地域でさまざまな事情で、困難に直面している方々に必要な食料を少しでも届けます。そして活動を通じて食品として十分な安全性があるが、製造過程で規格外、変形、食べきれない、販売できない食品を企業、商店、地元農家の方々から寄付頂き、食品ロスを少しでも少なくするフードロス問題への啓発活動もあわせて行います。

そのため札幌市及び北広島市内でこの活動に共感し、物心両面で幅広く協力頂ける多くの市民の方々の応援ボランティアも広く募集しています。

現在は千歳市内のフードバンクの協力によりおおむね週1回の食料支援を行っていますが、今後、企業・農家等の協力先の開拓を行い、よりいっそうの拡充を図ります。さらに外国からの留学生、技能実習生や就労者等もコロナ禍で、一層の生活の切り詰めをしている現状があり、食料支援を通じて日本での生活を応援します。

これらの体制を整えるための運営資金にも限界があり苦慮しており、多くの皆様の応援をいただくことにより体制の整備を一気に推進していくことが可能になります。



活動内容

1. 食料支援

- ・生活困窮者世帯への食料支援（生活困窮者自立相談支援機関、障がい者相談支援事業所との連携）
- ・生活保護受給開始までのつなぎとしての食料支援（行政との連携）
- ・外国人留学生、就労者、技能実習生への食料支援（留学生や在留者のネットワークとの連携）
- ・子ども食堂への食料提供、福祉施設等への食料支援等

2. 食料の確保

- ・食料供給先の開拓・確保

3. 担い手の確保

事業を担う応援者・ボランティアの確保

4. フードロス問題の啓発

- ・商工会、地域住民等を対象にして勉強会等を開催。

ご寄贈いただける商品の確認事項

- ★寄贈品の種類・提供食品の量（ケースの数や重量など）を確認します。
- ★未開封・未使用食品であり、賞味期限、消費期限が期限前であることを確認します。**※食料提供受けた方は必ず消費期限以内に食べてください。**
- ★個人・団体名を登録し、受領年月日、提供頻度、寄贈に至った経緯、提供に際しての条件などを記録します。
- ★提供食品の在庫場所や引き取り日時と方法の確認をします。

合意の締結・守ること

- ★必要に応じて寄贈企業とフードバンクぼすこの間で食品の寄贈に関する合意書を取り交わします。
- ★寄贈された食品を転売しないことや金銭、事業サービスと交換しないことを確認します。**※食料支援を受けた方は支援食料を転売してはいけません。**
- ★食品の安全性や保管管理責任などについて確認します。

食品の提供と報告

- ★フードバンクぼすこが責任をもって食品の提供に関する確認書を取り交わし、各施設や食料を必要としている方へ提供します。
- ★配分先は優先と公平を意識し入荷状況に応じて配分いたします。
- ★提供に関する情報を、正当な理由なくして第三者に漏らしません。特に生活困窮者に対しての情報提供は慎重に扱います。
- ★法人として理事会、評議員会において、配布運営状況に関する報告を書面で行います。

フードバンクぼすこ応援協力者の募集

札幌市厚別区内及び北広島市内でこの活動に共感し、物心両面で幅広く協力頂ける多くの市民の方の応援ボランティアを広く募集しています。

何をしますか⇒ 食料配荷の準備、寄贈企業への集荷
子ども食堂(不定期開催)運営協力
外国人(とりわけベトナム人)留学生、就労者、技能
実習生との交流事業、寄贈・寄付企業、個人の照会などの活動
です。**これから一緒に活動しませんか。**

活動（事業）の対象地域

札幌市（主として厚別区周辺地域）及び北広島市全域

支援対象者

住宅確保配慮者や生活困窮者の方への相談支援の中で日々の食事に困っている方、外国からの就労者・留学生や技能実習生等で食事に困っている方を主とした対象としています。また、地域で子ども食堂などを行っている団体や福祉施設等への支援の輪も広がっていきます。

- 1 生活困窮者等で食料支援の必要な方
- 2 外国人留学生、技能実習生、就労者等で札幌市や北広島市在留者
- 3 子ども食堂等を運営する団体
- 4 児童福祉施設、障がい者施設、高齢者施設等
- 5 その他

活動（事業）場所・拠点

居住支援業務事業所えぽっく（札幌市厚別区）

〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号

TEL011-894-3939 FAX011-373-8810

E-mail kyoju-shien@epoch.or.jp

URL <https://epoch.or.jp/>



居住支援業務事業えぽっく ぼると分室（北広島市）

〒061-1133 北広島市栄町1丁目5-2 北広島エルフィンビル2階

TEL 011-887-6480 FAX011-373-6680

問い合わせ方法

詳細は、電話、メール、ホームページ、Facebook 等でお尋ねください。
日本語またはベトナム語での対応となります。